

なかやま こうご  
中山 更互 (1688~1759)

俳人。松山藩士。松山城下(現、松山市)を中心に活動した人。通称は文右衛門。蕉風俳人であるが、淡々流(松木淡々を祖とする俳諧の流派。その俳風は難解で高踏を装うところがある)の影響も受け、甥の中山五嶺に淡々流の書を伝えている。小倉志山、河端五雲らとともに、松山初期俳壇の中心人物であった。彼の句は、『素羅宴』や『十夜の霜』などに収められている。

## 略歴

貞享5・元禄元(1688)年 出生  
延享元(1744)年11月 小倉志山編『俳諧霜夜塚』刊行。更互の句が収められている。  
延享4(1747)年10月 村山一志編『素羅宴』刊行。更互の句が収められている。  
宝暦元(1751)年10月 久万地方の俳諧の中心人物であった佐伯寿風の追悼集『十夜の霜』刊行  
更互による跋文(後書き)が載せられている。  
宝暦9(1759)年2月18日 72歳で永眠

### 〈関連図書〉

- ・星加宗一『愛媛文化双書23 伊予の俳諧』 愛媛文化双書刊行会 1975年
- ・愛媛県史編さん委員会『愛媛県史 文学』 愛媛県 1984年